

研究課題名

血液透析患者における生体インピーダンス法による脂肪量と筋肉量の生命予後に与える影響について

研究グループ

研究責任者の氏名

研究責任者：矢島 隆宏（松波総合病院 腎臓内科）

共同研究者：荒尾 舞子（同上）

研究の目的および概要

血液透析患者さんは、BMIが高値であるほど生命予後が良いことが知られています。私たちは先の研究において腹部脂肪が多い方が生命予後いいことを示しました。しかしながら、BMIは脂肪と筋肉を分けて評価することはできません。今回私たちは、生体インピーダンス法による脂肪量・筋肉量が生命予後に与える影響について検討します。今後、治療介入することで透析患者さんの生命予後の改善が期待されます。

この研究では、2010年から2015年に当院にて外来維持透析中で、生体インピーダンス法にて体組成の測定がされた患者さんすべてを対象とします。対象者の方々の診療記録と検査データ（血液、生体インピーダンス法により得られた脂肪量と筋肉量）を用い、生命予後との関連について後ろ向きに分析を行います。

検査データやカルテに含まれる情報をこの研究に使用する際には、個人の氏名の代わりに研究用の番号をつけて取り扱います。また、カルテを閲覧する研究者は最小限とします。研究用の番号がどなたのものであるかを示す対応表のファイルは、パスワードをつけて院内のインターネットに接続できないコンピュータに保管し、研究終了後5年間保存後廃棄します。研究成果の発表に際し、個人が特定できるような情報が公開されることはありません。

利用する情報の項目

カルテ情報：診療記録と検査データ（血液、生体インピーダンス法により得られた脂肪量と筋肉量）

利用するものの範囲

矢島 隆宏、荒尾 舞子

連絡先

松波総合病院 腎臓内科

医長 矢島隆宏

TEL: 058-388-0111(代)

FAX: 058-388-4711